



Monthly

さいがただより

National Hospital Organization Saigata Medical Center

2022年2月 Vol.37



火打山から見た北アルプス

発行：独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター 院長 下村 登規夫 <https://saigata.hosp.go.jp/>
〒949-3193 新潟県上越市大潟区犀潟 468-1 TEL:025-534-3131 FAX:025-534-4824

〈基本理念〉「良い医療を安全に、心をこめて」

新しい年の初めに思うこと

国立病院機構さいがた医療センター 院長 下村 登規夫

春寒の候、新しい年の初めから1か月を過ぎたところです。光陰矢の如しという言葉通り、時はあっという間に過ぎていきます。わたくしも、さいがた病院時代に副院長として着任し、院長を拝命してから13年を超えました。この間、様々な体験をさせていただき、多くの方々に助けられました。しかし、これまで体験した中で、近年のコロナ禍ほど人間の生活様式を変化させたものはなかったと感じています。人と会わない会議システムや仮想現実での飲酒会など、ITの発展はコロナ禍がなければこれほど進歩することはなかったでしょう。この発達には、医学にAI (artificial intelligence:人工知能) による診断支援をもたらし、新型コロナウイルス肺炎の診断支援にも用いられております。これもコロナ禍がもたらした産物といえるのではないのでしょうか。コロナ禍は、人類が過去に体験したことがないほどの変化をもたらし、これまでにない生活変容を強いたものといえるでしょう。

移動手段の発展が新型コロナウイルスの世界的拡散をもたらしたことを否定されることはないと思います。それでも人類は頑張っていると思います。通常のスPEEDでは考えられない速さで新型コロナウイルスに対するワクチンを作り出し、治療法を確立しつつあります。多くの人々の命を奪ってきましたが、これらの新しい武器により、多くの人々が救われることでしょう。私は、これらの武器はまだ盾であって、鉾にはなっていないと考えています。早く鉾となる武器を生み出す必要があるでしょう。マスクを外して街を安全に闊歩できる日を信じて、今は静かに頑張ることが最善だと再認識していただきたいと思います。

市民公開講座のご案内

どなたでも参加できます。
どうぞふるってご参加ください。

参加無料

- ◎日時 2022年3月5日(土) 14:00~15:00
- ◎会場 上越市市民プラザ 第1会議室 上越市土橋 1914-3

講演テーマ 「知っておきたい新型コロナの感染対策」

講師 国立病院機構さいがた医療センター

感染管理認定看護師 浦沢 昌恵



▲講演・研修・イベントのご案内
NHOさいがた医療センター
(hosp.go.jp)

講演
動画

過去の講演会・研修会の動画は、YouTube さいがた医療センター公式チャンネル「SAI-チャンネル:さいがた医療センター」からご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/channel/UCzMfcsLPgml9RITcM2CRsUA>



「独立行政法人 国立病院機構 さいがた医療センター」